

まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 令和5年度まちづくり担い手育成支援事業参加者
2. 日 時 令和5年9月27日（水） 19時00分～21時00分
3. 場 所 OUR 食堂
4. 出 席 者 <参加団体>10名 <市> 市長
5. テ ー マ まちづくり担い手育成支援事業の最終回として、参加者全員が今後の活動計画を発表。

【参加者】

昨年、柳ヶ瀬の方で「柳ヶ瀬日常二ナール」という官と民の連携したイベントがあり、実際に柳ヶ瀬のまちの中で周遊できるような謎解きをつくってやってみたことがありました。そういったことを考えてみても面白いのかなというのは思ったところです。本当にやる気が出て、やりたいとなったときには、皆さんにご協力をいただいているのかなと考えています。

【市長】

ポテンシャルがある地域ですので、まずはこんなことならできたらいいということが見つかりましたら、ぜひ、リトルクリエイティブセンターもありますし、行政もしっかりサポートしていきますし、なんといってもこの仲間がいますので、頑張ってくださいなと思います。

【講師】

近くにモデルがあるということに、言われて気付きました。柳ヶ瀬みたいにポジティブに変わっていけるという可能性がまだまだあるというのを改めて感じたので、ぜひ何か一緒にできたら嬉しいなと思います。

【参加者】

今後は商店街で新たなお店が開店したら情報をリトルクリエイティブセンターに提供したりしたいと思います。

【市長】

これからもどんどん歩き回っていただいて、色々な情報をリトルクリエイティブセンターや市にも教えていただきたいなと思います。私自身も新発見をさせていただいて、非常に嬉しく思います。これからも各務原により関心を持っていただいて、一緒になってまちを作っていくっていただきたいと思います。

【講師】

まちの人と話してみたら面白いことがたくさんあると思うので、ぜひまた見つけたら情報提供を気軽にしてくれれば嬉しいなと思います。

【参加者】

一度しかない高校生時代に、これに参加したことが今後どのように生かせるか考えた時、各務原を自分自身をもっと知って、広めることだなと思いました。もちろん、浅野市長もですが、私も尊敬する人の一人に姉がいて、私も姉のように発信力を持って、自分にしかできないことをやっていきたいなと思いました。

【市長】

将来こんなものやってみたい、というものが既にあるようですので、それに向けて今回の経験を生かし、頑張っていたきたいと思います。

【講師】

まちを歩いて色々気付いているというのは、10年後や20年後に戻りたい場所・帰りたい場所に各務原がなっていたら嬉しいなと思いました。ぜひ、友達にも宣伝して、一緒にまち歩きを改めてしてもらえたら嬉しいなと思います。

【参加者】

今、観光DMOという研究を通して様々な他の地域の事例を見てきましたので、それを各務原市にどのように落とし込めるのかというのも考えていきたいと思っています。

【市長】

今大学院で学んでいただいていること、あるいは全国各地の調査もしてみえると思いますので、そういったところをまた、市にお伝えいただきたいと思います。

【講師】

改めて住んでいる場所に目を向けてくださっている人がいるということは各務原も良いまちだからこそなんだろうなと感じました。今研究されていることが各務原市にどのように生かせるか、何かしらの形でまたこのまちのことを思い出してもらって、学んだことなどを生かしていただけたら嬉しいなと思います。

【参加者】

私も今後、こういうまちづくりに貢献できるように、空間づくりみたいなのところに発展させたいと思っているので、今回を機にうまく繋がれたらと思っています。ご縁があれば、まだ5回しかここ（那加商店街）に来ていないので、もっとこれからも来れたらいいなと思っています。

【市長】

まちづくりにはもちろん、「まちをつくりたい」、「こういうふうにつくりたい」という構想ももちろん大事ですけども、1人でできること、1人ではできない多くの力が必要とされることもあると思うので、今回多くの方に話しかけていただいたその積極性を生かして、これからも頑張っていたきたいと思います。

【講師】

ここは本当に一部なので、今後も色々情報をキャッチしていただいて、何か機会があれば、その持ち前のフットワークの軽さで遊びに来ていただければ嬉しいです。

【参加者】

楽しく参加させていただいたので、今後も第二弾などあれば、探して行きたいなと思っております。

【市長】

お子さんを育てていただいている世代ですので、そういった方々とも歩くことによって交流が増えてくるかなと思いますし、色んなご意見を聞かれると思うんですよね。そういった声を今後とも市に届けていただきたいと思います。

【講師】

ここでのご縁を次にということで、DIYも手伝っていただいたりしたので、こんな形で今後も何か機会があったらぜひ関わっていただけたら嬉しいなと思います。

【参加者】

こういうところで自分が色々感じたものをできるだけ発信したり周りに伝えたりすることで、今度はそれが派生していくというところにチャレンジしたいと思いました。また、今コロナ後で、インバウンドの方がいっぱいいらっしゃるっているので、もっと注目されていいエリアなんじゃないかなというところから、海外の方に向けて地元の良さを伝えていけるといいんじゃないかなと思います。

【市長】

犬山城北側辺りもちょっと見て回っていただくと、また面白い発見があって、発信をしていくこと、そして海外から来る方にどのように楽しんでいただくかということが、恐らくイメージができるかと思えますので、市内いろんなところを回っていただいて、私たちにも教えていただきながら、一緒になって魅力の発信に努めていきますので、よろしくお願いします。

【講師】

マップじゃなくてSNSとなったときに、ご自身がどこを注目して見られるかということも変化が面白いところだと思うので、ぜひそれは試してみてくださいましたら嬉しいなと思いました。

【参加者】

私は専門で介護福祉経営みたいなことをやっているのですが、実は介護福祉というのは今後地場産業になる可能性があるリソースで、それをまだ活用できる市町村というのはかなり少ないので、先に手を付けてしまったらいいんじゃないかな、というところで、そういうことのお手伝い如果能したらと考えております。

【市長】

ぜひまた市と、介護福祉以外の分野でも一緒になって何か取り組めることがありましたら、ぜひこちらにどんどん提案を頂きたいと思えますので、よろしくお願いします。

【講師】

これをきっかけに、学生さんもこういう場に来ていただけるような機会ができていくと嬉しいなと思いました。

【参加者】

大きいことを一人でやるのは難しいので、お店とのコラボをしたりとか、地元の人から話を聞いたりと、地元の人を呼んで応援していただいたりという、すごく小さいことでも若い世代に少しずつ種をまいて、その子たちが大きくなったとき自分がやりたいことにつながっていったらいいかなと今は考えています。

【市長】

いかに人を巻き込むかというのは大事なことで、今気付いていただいていることなので、ぜひそういったことを率先して、どんどんと輪を広げていっていただきたいと思えます。

【講師】

ぜひ学生・高校生の皆さんを巻き込んで何かをするときには、ここの場のみなさんとも繋がりながら何か実現できたらすごく素敵だなと感じました。

【講師まとめの言葉】

マップ作りというのは、言ってしまうえば手段で、その過程というのをそれぞれ皆さん自分の背景や考えに紐づけてプラスに変えていっていただいている、皆さんがそのモチベーションでここに参加してくださったからこそだと感じました。今回やり切れなかったことややり残してしまったことを、それぞれ自分の仕事や取り組みに活かして発散してもらえたら嬉しいなと思いますし、そこに私たちの力や市のサポートが必要な場面にはぜひヘルプを出していただければ、一緒にできることもまだまだあると感じました。もし違うエリアで同じ思いをする人がいたら、こういう経験を活かして、一緒に何か形にしたり、サポートしたりしていただけると嬉しいなと思います。

【市長まとめの言葉】

皆さんが「まちづくり」というキーワードに敏感に反応していただいたのが非常に嬉しいところです。今回のこの積極的な行動というのは、必ず次の行動につながると考えられると思いますので、これから皆さんがさらに意欲を持って色々なことにチャレンジしていただけることを期待しています。

各務原市といたしましては、まちづくり活動助成事業やまちづくり担い手マッチング事業等々も行っておりますので、ここでまたひとつ頑張ってみたいなということがありましたら、まちづくり推進課にご相談をいただければと思います。